

麻溝台・新磯野地区整備推進事業の概要

1. 麻溝台・新磯野地区の位置及び面積

麻溝台・新磯野地区は、相模原愛川インターチェンジから約3キロメートル、小田急線の小田急相模原駅や相武台前駅から約2キロメートルに位置しており、周辺は住宅地、工業団地、みどり豊かな公園等に囲まれた約148ヘクタールの地区です。



2. 地区内の状況

ア. 面積

- 北部地区: 約42.3ヘクタール(市街化区域: 約11.5ヘクタール含む)
- 南部地区: 約67.8ヘクタール(学校用地: 約10.3ヘクタール含む)
- 第一整備地区: 約38.1ヘクタール

イ. 地権者数

- 北部地区: 約315地権者
- 南部地区: 約545地権者
- 第一整備地区: 約420地権者

ウ. 建物用途の概要(都市計画基礎調査(27基礎調査)による)

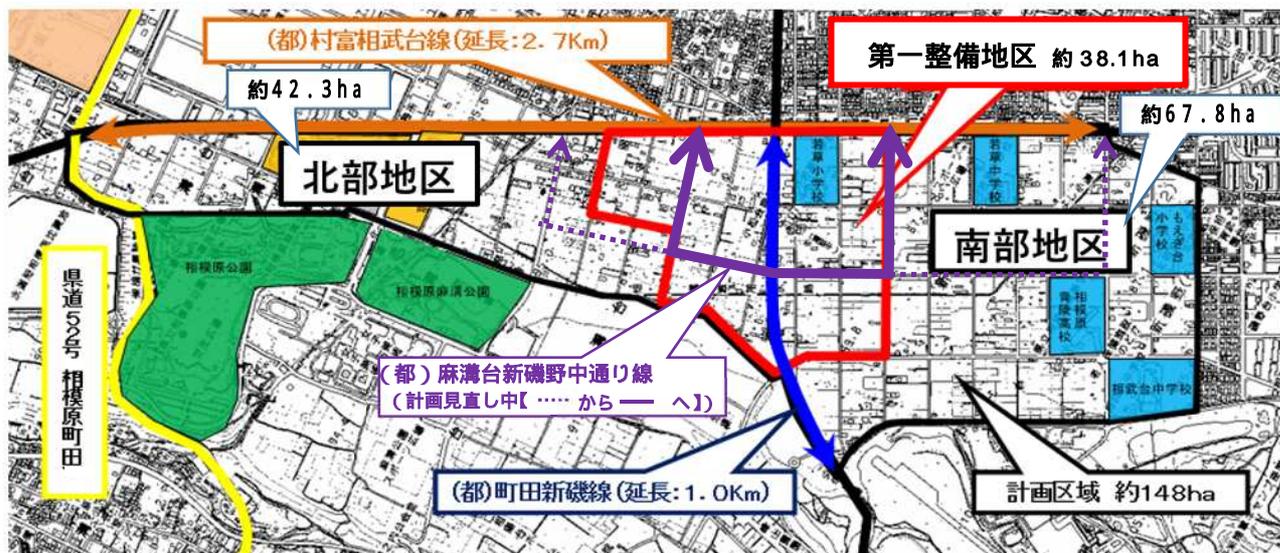


エ.住宅数（都市計画基礎調査（27 基礎調査）による）

北部地区：55 棟（集合住宅 1 棟 8 戸）（参考人口：122 人）

南部地区：68 棟（集合住宅 1 棟 8 戸）（参考人口：149 人）

オ.道路状況等



カ.電気等供給処理施設

電気、上水道については基本的に各戸に供給されております。

下水道については、一部を除き未整備です。なお、道路・下水道の整備状況は、さがみはら地図情報（Web 公開型 GIS）にて公開しております。

キ.埋蔵文化財

埋蔵文化財包蔵地ではございません。

ク.地中障害物

地中障害物が発出する恐れがあります。位置や埋設量は不明です。

なお、第一整備地区では調査実施箇所 548 筆のうち、107 筆において、地中障害物を確認しております。

（調査の結果については、別紙 4「地中障害物等調査の結果について」のとおり）

ケ.地権者組織

平成 25 年度に、整備区域、整備主体等の事業化方策の案を作成することを目的とした、地権者によるまちづくり研究会（麻溝台・新磯野北部地区まちづくり研究会、麻溝台・新磯野南部地区まちづくり研究会）を発足し現在検討を行っております。

3.土地利用方針（案）及び方針図（案）

（1）産業系土地利用

- ・相模原愛川 IC からのアクセスや隣接する麻溝台工業団地との連続性を考慮し、県道 52 号（相模原町田線）沿い及び地区の西側に産業系ゾーンを配置する。
- ・第一整備地区は、土地区画整理事業を行い、地区計画等により良好な操業環境を形成
- ・北部及び南部地区は、民間活力による市街地整備を誘導し、地区計画等により良好な操業環境を形成する。

（2）住居系土地利用（第一整備地区のみ）

- ・隣接する相模台地区との連続性を考慮し、第一整備地区の東側に住居系ゾーンを配置する。

